月２回のお米

コメ市場に関する情報がここに凝縮されています。
毎月第2・第4木曜日　夕方発行

新潟コシヒカリ少し盛り返す

発行日　：　2020/7/17

TOPICｓ コメの需給DI　by　農林水産省　Monthly Report 7月号

現在も3ヵ月先も需給は緩んでいる

今月のコメの販売数量は増加傾向

今月のコメの販売数量は前年同月より少ない

来月のコメの販売数量は今月より少し増える

今月のコメの販売価格は前月より下落

今月のコメの販売価格は前年同月より同じか安い

来月のコメの販売価格は今月より下落

来月のコメの販売価格は前年同月より同じか安い

今月のコメの在庫は今月より下落

今月のコメの在庫は前年同月より多いか少ない

来月のコメの在庫は今月より減少

今月のコメの在庫は前年同月より多いか少ない

TOPICｓ 民間コメ在庫

★　農林水産省がまとめた５月の「民間コメ在庫」は、177万トンで、前月の204万トンから▲27万トン減少した。しかし前年同月比ではまだ＋16万トン上回っている。また過去5年間の平均179万トンとの比較では、▲2万トン少ない水準となっている

TOPICｓ 相対価格横ばい

農林水産省がまとめた5月の相対取引価格は1万5,777円／60キロとなり、前月より▲2円安、年産平均価格は前年度比＋61円高の1万5,749円で、前年度よりは高いが、傾向としては値下がり気味。

TOPICｓ 相対価格横ばい

5月の「5kg入りコメ小売価格の全国平均価格」は、2078円となり、前月の2082円から▲2円安くなった。値下がりは4カ月ぶり。全体的な流れは、ゆるやかに上昇傾向となっている。

TOPICｓ コメの１人１ヵ月当たり消費量の推移

農林水産省がまとめた5月の「米の１人１ヵ月当たり消費量」は、4,656グラムで、前月の5,085グラムから▲429グラム減少した。前年同月比は▲195グラム、▲4.0%のマイナスで、14カ月ぶりの前年同月比マイ

TOPICｓ 「コメ・パン・めん類の購入数量」（月次）

農林水産省がまとめた「コメ・パン・めん類の月当りの購入数量」によると、５月は、コメが5,110グラムと前月比で▲２．６%減少したが、前年同月比では、＋8.5%増。

パンは4,177グラムと前月比は＋3.5%増、前年比は＋5.7%増。

麺類は3,578グラムで前月比は▲1.6%減、前年比は＋24.9%増。

このデータを見る限りではコメは10月の購入が最も多く、1月が最も少ない。

TOPICｓ 「コメ・パン・めん類の購入数量」（年次）

「コメ・パン・めん類の月当りの購入数量」の年次変化を見ると、コメの購入数量は右肩下がりで減少していることが見て取れる。

今後の見通し

大阪堂島商品取引所の新潟コシヒカリの価格は、1月21日の16,850円の高値から6月16日の14,050円まで▲2800円、約16.6%下落したが、7月13日には14,750円まで＋700円、約5%回復している。しかし、5月の小売り事業者向け販売数量は前年比前年同月比95%となり、5ヵ月ぶりに前年割れとなった。新型コロナ関連で中・外食向けのコメの需要が減少すると共に、家庭用の需要も鈍化した。5月末時点の民間在庫は177万トンと前年の162万トンより＋15万トン多い。日本コメ市場株式会社が6月22日に発表した令和元年産「あきたこまち」の取引価格は1万3244円で5月下旬比▲651円安と最安値を付けている。通常は7月になれば産地の農家のコメの在庫は無くなるところだが、今年は多くの農家で大量の在庫を抱えていると言う報道もある。(6月28日付Yahooニュース）外食産業の回復も今一つ不透明であり、コメの需要は今年はかなり例外的な年となりそうである。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス （以下「COMMi」という） が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものですが、その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっておらず、また、いかなる責任を持つものでもありません。
本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。
本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正･加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。
COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。
本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。
本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。
COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。
投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願いします。
以上の点をご了承の上、ご利用ください。

発行元：

株式会社コモディティー インテリジェンス
〒103-0014東京都中央区日本橋蛎殻町1丁目11-3-310
会社電話: 03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692
メールアドレス: kondo@commi.cc